



倉本 玲子
管理本部
総務部法務課
2014年入社
(前職歴:一般社団法人)



ゲン バン フォン
技術本部
機械設計部機械設計2課
2018年入社
(前職歴:技術系派遣)



滝澤 直弥
管理本部
情報センター
2020年入社
(前職歴:家電メーカー)



横山 雄飛
事業本部
関東支店サービス1課
2020年入社
(前職歴:機械メーカー)



垣本 伊守幹
技術本部
開発部開発5課
2020年入社
(前職歴:知財系ベンダー)

日工では、事業環境の変化に対応するため

専門人材のキャリア採用を積極的に進めています。ジェンダーや国籍に加えて中途採用者の増加も、チームに多様性を与えイノベーションを促進すると考えています。

キャリア採用で入社された皆様に前職経験者ならではの視点から日工はどう見えたのか、ご自身の成果や課題も含めて話し合っていました。

●実施日:2021年8月5日 実施場所:本社会議室(兵庫県明石市)

立木: 本日の進行役を務めます総務部の立木です。リモートでご参加の2名を含めて5名のキャリア採用入社の皆様のご意見を伺ってまいります。日工では2018年度3名、2019年度11名、2020年度17名とキャリア採用で入社される方が増えており、その重要性が高まっています。はじめに現在の業務内容と転職動機をお聞かせください。

垣本: 開発部で特許など知的財産の管理を行っています。特許明細書の作成、技術文献調査、意匠・ブランド権の保全、契約書の作成などが主な業務です。新卒では特許のデータベースを扱うベンダーに入社、営業職として多くの製造業のお客様とお付き合いするなかでより実務に精通したいと日工に転職しました。

滝澤: 空調メーカーで生産ラインを稼働させるシステム開発を行っていました。子育てのため実家の周辺で仕事を探していたところ、コロナ禍でも求人を出されていた日工が目にとまりました。現在は情報センターで社内ネットワークの整備や受注から販売までの基幹システムの開発・保守を担当しています。

ゲン: 設計部でリサイクルプラントの設計をしています。前職は技術系派遣会社の勤務で、日工に2年半ほど派遣され

ておりました。正社員となり福利厚生など待遇も改善し満足しています。

横山: 関東支店サービス1課でアスファルトプラントのお客様を担当しています。前職は機械メーカーで点検・保守を行っておりました。今は営業から保守まで一貫して手掛けているので業務の幅が格段に広がっています。

倉本: 入社7年目なので日工に馴染んでいます(笑)、法務課で契約書の作成・審査、社内各部署からの規制や法律に関する問合せへの対応、株主総会の取りまとめなどが主な業務です。ロースクール卒業後に社団法人に勤めておりましたが、実務経験が無くても法律の専門性を活かして働けるということで日工に移りました。

立木: 日工に入社されて感じられたカルチャーギャップがありましたら教えてください。

垣本: 製造業に勤務するのは初めてだったので、「指差し呼称」の習慣や回覧などで名前に尊称として殿を使う「殿文化」は新鮮でしたね。入社した頃に、組織改革プロジェクトが進行しており、外部のコンサルタントを入れて多様性の拡充などに取り組んでいたこともあって、違和感を抱くことは少なかったです。何と言っても職場で播州弁が飛び交い、地元出身者としては和みます(笑)。

滝澤: 社内のコミュニケーションツールが充実しているのは少し意外でした。ポータル、ラインワークス、ズームが使えてPCトラブルには日本中どこでも遠隔操作で対応できる環境は前の会社にはなかったです。入社後2カ月間の導入研修があり、インストラクターの先輩と同僚とプラベートなことも含めて対話が持てたのでスムーズに溶け込めました。

ゲン: 派遣社員として日工で働いていたので、正社員になった時に戸惑うことはありませんでした。派遣社員の時に比べるとより多くの従業員と交流する機会が増えたので嬉しく思います。一般的にベトナムより日本のほうが会社の上下関係の規律が厳しいのですが、日工は上司もフレンドリーで働き易いと感じています。

横山: 転職して驚いたことが2つあります。ひとつは関東支店なのに関西弁ワールドであること(笑)、もうひとつは現場のプラントの迫力です。関西弁は柔らかい響きがあるので、今は心地良く感じています。前の会社では小型の製品を取り扱っていたので、プラント部品のミキサーやドライヤーの大きさには驚きました。前職ではマニュアルに基づき修理・保全作業を行っていましたが、今はお客様の声に耳を傾けながら最適なソリューションを提供することの難しさを感じつつも、セールスエンジニアとしての成長を実感できています。

立木: 日工の社風や体質は他社を経験された皆さんにはどのように映ったのでしょうか？

倉本: 入社してみて「穏やかな社風」だなと感じたことを覚えています。以前勤めていたところは公的資格の試験を運営しており、試験実施前など職場に緊迫感があったので、そのように感じたのだと思います。

垣本: 知財ベンターにいたので老舗メーカーさんとのお付き合いがありましたが、日工のICT導入の意欲や承認・決済の意思決定は速いと感じます。また、実務経験が無くても知識や意欲があれば専門職として育てようという方針を感じるので、スペシャリストを目指す方には働きがいのある職場だと思います。資格取得表彰制度があるのもモチベーションが上がります。

滝澤: 確かに新しいソフトウェアへの投資判断は早いですね。新しいICTやソフトを実装した後も「使いこなそう」と楽しんでトライしているように見えます。前職では失敗に対する許容度が低く、新しいことに挑戦する気概が生まれ難いと感じていたので、日工の「適度なプレッシャー」は働き易いのかもしないです。

横山: 「適度なプレッシャー」に関連しますが、セールスエンジニアに販売ノルマがないのでじっくり腰を据えてお客様に向き合えています。

倉本: 日工は役職名ではなく名前で呼ぶ習慣があるので、あまり上下の関係を意識せず相談できる雰囲気がありますね。リモートワークの開始も2020年4月でしたから、対応は速かったと思います。日工の家賃補助、奨学金制度、昼食補助など福利厚生は充実していて子育て従業員としては助かっています。

ゲン: 派遣社員の頃は設計に関わったプラントの稼働現場を見ることはなかったのですが、入社後は自分が設計を担当したプラントを訪れる機会が増えて、お客様を始め営業マンやサービスマンからも話が聞けるので設計担当として刺激になります。社員になって家族手当が支給されるようになったのも嬉しかったです。

立木: 肯定的なご意見が多いですが、困ったことや課題と感じることがあれば教えてください。

垣本: 開発部では、収益管理のため週次で進捗シートを提出しているのですが、フォームがエクセルでデータ入力に時間がかかるので、全社的な取り組みであればユーザーフレンドリーなシステムを開発して貰えると助かります。

ゲン: 設計部でも新しい技術を学ぶ機会があると良いと思います。脱炭素やビフォアメンテナンスに向けた新たな製品開発を進めているので、次世代のプラントはどう進化するのか設計の立場から詳しく知りたい気持ちはあります。

横山: 入社後に本社で1ヶ月間の研修を受けました。導入研修はとても充実していたので、実務を通じて一定の知識や技能を得た後も定期的に研修の機会があると良いなと思っています。コロナ禍では移動制限があり難しいかも知れませんが、オンラインによる座学研修でも有益ではないかと感じています。

立木: 最後に、日工での働き甲斐や今後のキャリア展望をお聞かせください。

垣本: 最新の開発テーマに触れながら日々新鮮な気持ちで仕事ができているので、やり甲斐を感じています。特許という形につながるよう開発チームのサポートを心掛けたいと思っています。知財管理のスペシャリストとしてできる限り長く働きたいと考えています。弁理士資格の取得を目指しており、取得できたら登録料など支援を受けられると嬉しいです。知財の戦略的管理は経営のテーマでもあるので、技術分析など経営判断に役立つ情報の提供にも取り組みたいです。

滝澤: RPA(ロボティックプロセスオートメーション)を本格的に導入すれば大きな業務改革の成果が得られるのではないかと期待しています。日工全従業員のメールアカウントのパスワード更新作業を自分でプログラムしたRPAでエラー無く自動更新できたので、手作業より大幅に作業時間が短縮できることが実証できました。今の発注システムもマニュアル入力が多いのでRPAによる業務効率の改善余地は大きいと思っています。こうしたチャレンジの機会を

与えて貰える日工で長く働きたいのですが、前職より収入が減っているのが成果が上がれば給与に反映して欲しい気持ちはあります。ICTによる業務改革で無駄な労働時間を減らして週休3日を達成することが夢なので(笑)、ICT投資の増額よろしくお願いします。

ゲン: 社会インフラを支えるリーディング企業で働ける誇りを感じています。日工はアセアン諸国のインフラ整備にも力を入れているので、もっと実力を付けて将来は日工の海外展開に貢献したいと考えています。バンコク現地法人のタイ人セールスの問合せにも対応しており、現地の状況には常に関心を持っています。

横山: 現在は5カ所のプラント工場を担当しており、営業から保守まで一貫してカバーするので幅広く業務に取り組んでいます。プラントが無事に稼働して、道路工事が完工した時はお客様とともに喜びを分かち合い、達成感を感じることができます。もっと経験を積んでリーダーシップを発揮できる人材を目指したいと思います。

倉本: 法令改正に、社内どう対応するかを議論するときに、改正の背景や主旨を深く理解する必要がありますが、学ぶプロセスは楽しいですね。法的なトラブル対応にも粘り強く交渉・調整することで解決の糸口が見えたときは達成感を感じます。法務課と現場に少し距離があるように感じるので、リーガルワークショッなど開催して、社内ネットワークを広げられないかなと模索しています。

立木: 新卒プロパー社員である私にとりまして、とてもフレッシュなご意見を拝聴できました。皆様が日工で益々活躍できるよう引き続きサポートさせていただきます。本日は貴重なご意見を聞かせくださり有難うございました。



進行役 立木 裕貴
総務部総務室
2013年入社